外国語活動　　学習指導案

学校名　　坂町立横浜小学校
授業者　Ｔ１　　ＨＲＴ　國本　浩史
Ｔ２　ﾊﾟﾜｰｱｯﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ　村上　康恵
Ｔ３　　JALT　二反田　祥子

１　日　時　　令和元年 11 月 14 日（木）
２　学　年　　第５学年　２組　22 名
３　単元名　　We Can! 1　Unit5 「She can run fast. He can jump high.」
～Who am I? クイズで友だち新発見～
４　単元について

○　本単元は、小学校学習指導要領解説　外国語編(平成 29 年７月)における英語（３）話すこと[やり取り]「ウ　自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。」（５）書くこと「ア　大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。」に基づいて指導する内容である。

本単元は、“We Can!1 Unit5”「She can run fast. He can jump high.～Who am I? クイズで友だち新発見」の中で、できること、できないことの表現を中心にしたインタビューを行い、知り得た情報の中から伝えたいことを取捨選択し、身近な人物について紹介をすることをねらいとしている。

これまで一人称と二人称で思いを伝え合ってきた児童にとって、三人称を用いて身近な人について伝えたいと思うのはごく自然である。助動詞 can を用いることで、動詞変化がなくなり、主語に着目させやすくなる。三人称を用いることで、その場にいる人だけでなく、いない人についても表現できることから、身近な人から世界で活躍する人についても幅広く話題に上げることができる。ここでの学習は、Unit９「Who is your hero? あこがれの人」の学習で、あこがれたり尊敬したりする人について自分の考えや気持ちを含めて伝え合う活動へと繋がっていく。

○　本学級の児童は、第５学年１学期の“We Can!1”「Unit1　自己紹介」「Unit3　誕生日」などの単元で自分の好きなものや欲しいものについて伝え合う活動を行ってきた。学習を通して、身近な人と[やり取り]をする中で、伝えようとしていることが伝わった喜びを感じる経験を重ねてきた。しかし、仲の良い同性の友だちと［やり取り]する場面が多く、知り得ている情報を再確認するのみで新しい発見がない場面が多く見受けられた。また、自分の考えや気持ちなどを多くの人に伝えようと自信をもって関わる児童も少ない。

９月に実施した意識調査では、6 月よりも[読むこと][書くこと]に関する項目は肯定的に答えている児童が増えた。「書く」活動については、これまでの学習で単元の終わりに決めら

れた基本表現を書き写す活動をしてきた程度である。しかし、やり取り「英語でやり取りや発表をする時には、自分の考えや気持ちなどを伝えています。」の項目では、全体の２割の児童が否定的に答えており、自信をもつまでには至っていないことがわかった。

このことから、自分の思いや考えを伝え合う[やり取り]の中で得た情報を読んだり書いたりする活動を取り入れ、[やり取り]から[読むこと][書くこと]へと円滑に繋げていくことが必要であると考えられる。

○　指導に当たっては、まず単元のゴールである「Who am I? クイズで友だち新発見」を児童と共有し、インタビューを通して情報を収集し、学級全体へクイズとして発信していく活動への見通しをもたせる。

次に、本単元で初めて出会う助動詞「can」については、スモールトークの中に「I play soccer.」「I can play soccer.」の両方を取り入れ、繰り返し表現することで can への気付きを促す。その後、I を You に変えた「You can play soccer.」を例に出し、相手にあることができるかどうか尋ねたり答えたりする表現へと繋げていく。

そして、三人称の He や She について、「I can play soccer. You can play soccer.」と「He(She) can play soccer.」を横浜小学校先生クイズの中に取り入れ、主語の違いを明確にすることで、He や She を用いれば、その場にいない第三者のことについても表現できることに気付かせる。

また、「話すこと」から「書くこと」への抵抗を少なくするために、インタビューから分かったことを他の友達に話す活動を取り入れ、インタビューでは You だった主語が He や She に変化することを意識させながら「書くこと」へと導いていく。書く際は、文字の大きさや形、単語と単語の間など、書くときのポイントを提示することで、英文を書く時のきまりや言語や文化に対する気付きを促したり、書いた後の見直しに役立てたりする。書いたワークシートは冊子にして先生方や他クラスの児童に見てもらうことで、書くことに対する目的意識を高めたい。

５　単元の目標

○　自分や第三者のできること、できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合おうとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○　自分や第三者のできること、できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合う表現に慣れ親しむ。

○　第三者ができることについてワードリストを参考に書き写す。

【外国語への慣れ親しみ】

○　文字には音があることに気付く。

【言語や文化に関する気付き】

6　単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
○自分や第三者のできること、できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合おうとしている。	○自分や第三者のできること，できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり，質問に答えたりして，伝え合う表現に慣れ親しんでいる。 ○第三者ができることについてワードリストを参考に書き写している。	○文字には音があることに気付いている。

7　単元のゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	○できることやできないことを伝える表現や既習表現を用いて Who am I? クイズを行う。 ○第三者について書いたワークシートを冊子にし、先生方や他のクラスの友達に見てもらう。
目指す発話例	ABCD…Question Group　EFGH…Answer Group A：He can play baseball very much. E：Can he run fast? A：Yes, he can. He can run fast. F：Can he catch a ball well? A：Yes, he can. B：I like Carp. I like Seiya Suzuki. I want a Seiya's signball. F：Wow! That's good! What do you want for your birthday? C：I want new shoes. G：What color do you like? C：I like blue. G：Why? C：(Because) I like sky. D：I can play Kendama.

	I can play Sekai-isshu. H：Great!! D：I can cook curry and rice. I cook curry and rice at home. Who am I? E：Are you Haruki? ABCD：No, I'm not. F：Are you Riku? ABCD：No, I'm not. E：Are you Yuya? ABCD：That's right!!

8　言語材料（下線は新出表現，語彙）

主な表現	主な語彙
Can you (sing well)? Yes, I can. /No, I can't. [I/ You/ He/ She][can/ can't](sing well). What~ do you like? I like~. I don't like~. Do you like~? Yes, I do. / No, I don't.	〈動作〉(play[the recorder/ the piano], ride a [bicycle/ unicycle], swim, skate, ski, cook, dance, run fast, jump high, sing well), can, can't, he, she, Mr., Ms., net, omlet [既出]スポーツ,動作,日課,not

9　単元計画（全６時間）

時	目標（◆）・主な活動，やり取り等	評価規準・評価方法	表現例
1	◆動作を表す語や「できる」「できない」を表す表現を知る。できることやできないことを尋ねたり答えたりする。 ★Small Talk(先生のできること・できないこと) ○【Activity】自分のできることはなにか考え、言ってみよう！ ○“Who am I？”クイズ横浜小先生バージョン１にチャレンジしてみよう！	自分や相手のできること、できないことなどについて伝える表現があることに気付いている。 【気】行動観察	I can play tennis. I can’t play baseball. You can play tennis. Can you play tennis? Yes, I can. No, I can’t.
2	◆第三者について、できることやできないことを尋ねたり答えたりする表現を知る。 ★Small Talk(先生のできること・できないこと) ○他のクラスの友だちやテレビで活躍している人たちのできることやできないことについて伝えてみよう！	自分や第三者のできること、できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりしている。 【慣】行動観察	He/She can ～. Can he/she ～? Yes, he/she can. No, he/she can’t.
3	◆第三者ができることやできないことを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ★Small Talk(ある人ができること・できないこと) ○インタビューしてきた人を紹介してみよう！ ○“Who am I？”クイズ横浜小先生バージョン２にチャレンジしてみよう！	自分や第三者のできること、できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 【慣】行動観察 ワークシート	I can ～. I can’t ～. You can ～. Can you ～? Yes, I can. No, I can’t. He/She can ～. Can he/she ～? Yes, he/she can. No, he/she can’t.

4 本時	◆友だちのできること、できないことなどについて、その場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合う。 ◆第三者ができることについてワードリストを参考に書き写す。 ★Small Talk(ある人ができること・できないこと) ○【Activity】クラスの友だちにできることやできないことなどについてインタビューして情報を集めよう！ ○【Talking】インタビューした相手のできることについて話してみよう！ ○【Writing】インタビューした相手のできることについて書いてみよう！	できること、できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合おうとしている。 【コ】行動観察 第三者ができることについてワードリストを参考に書き写す。 【慣】ワークシート	He/She can ～. Can he/she ～? Yes, he/she can. No, he/she can't. I can play tennis. I can't play baseball. You can play tennis. Can you play tennis? Yes, I can. No, I can't. I like ～. I want ～. What subject do you have? I have ～.
5	◆友だちとやり取りした内容を整理し、クイズ大会の準備をする。 ★Small Talk（あの人のできることできないこと） 【Activity】"Who am I?"クイズ大会に向けて準備をしよう！	自分や第三者のできること、できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合う表現に慣れ親しんでいる。 【コ】行動観察	
6	◆できることやできないことを伝える表現や既習表現を用いて Who am I? クイズを行う。 ★Small Talk（クイズ大会） 【Activity】"Who am I?"クイズ大会 ～友だちの新たな一面発見できるかな？ ・振り返りをする。	できることやできないことを伝える表現や既習表現を用いて積極的にクイズを出したり、クイズに答えたりしている。 【気】振り返りシート	

10　本時の学習

（１）本時の目標

○　友だちのできること、できないことなどについてその場で質問したり、質問に答えたりして伝え合うことができる。　　【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○　第三者ができることについてワードリストを参考に書き写す。【外国語への慣れ親しみ】

（２）本時の評価規準

○　友だちについてできること、できないことなどについて、その場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合おうとしている。

○　第三者ができることについてワードリストを参考に書き写している。

（３）本時の展開

児童の学習活動	指導者の役割			指導上の留意点等 ◆評価
	Ｔ１	Ｔ２	Ｔ３	
【Greeting】 1　あいさつをする。 L: Stand up. Let's start English! Sit down.	T1: Hello! C: Hello! L: What's the date today? What day is it today? How's the weather today? How are you?			
【Warm up】 2　ペアトークを行う。 テーマ: できること・できないこと	・簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりすることを意識させる。	A : Can you play the piano? B : No, I can't. But I can play the recorder. A : Oh. You can play the recorder. B : What song do you like? A : I like ・・・		・既習表現を用いたやり取りを行い、表現の復習と定着を図る。
【Let's Watch and Think】 3　スモールトーク ・指導者のやり取りから、本時の表現をつかむ。	・スモールトークを見せる。	A : What subject do you like? B : I like P.E. A : I see. Can you run fast? B : Yes, I can. I like running. A : Oh. You like running. Do you have running shoes? B : Yes, I do. ・・・		・やり取りからどのように相手の情報を聞き取っているのかに気付かせる。 ・キーフレーズは何か確認する。

【Today's Aim】 4　めあてを確認する。 Today's　Aim 友だちのできること、できないことなど，インタビューして情報を集めよう。 友だちのできることを書いてみよう。			・本時の学習内容や流れを確認することで、見通しをもって取り組めるようにする。
【Activity】 5　やり取りを行う。 ・Take1 友だち複数人と、やりとりを行う。 （一人２分×４回） ・やり取りの中で困ったことを交流し、アドバイスをもらう。 ・Take2 インタビューを行う。	・Activity のやり方を説明する。 Take1 ① ペアでやり取り ② 相手を代えてやり取り ③ 分からないことや困ったことを交流する。 ④ アドバイスを参考にやり取りを行う。 Take2 Take1 でのやり取りを生かして 相手の情報を集める。 ・良いやり取りを行っていたペアにモデルとして発表させ、工夫等に気付かせる。	・質問するなどしてうまくやり取りのできていない児童を支援する。	・既習表現を想起させ、関連して好きなものことや、ほしいものについてもやり取りをさせる。 ◆友だちのできること、できないことなどについて、その場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合っている。 （行動観察）
【Talking】 6　インタビューで集めた情報の中から、その人のできることを１つ選び、グループで共有する。	・主語は He なのか She なのかをはっきりさせる。		
【Writing】 7　やり取りで集めた情報を整理し、ワークシートに書く。	・ワードリストを配布し、よく見て書くよう伝える。	・書くときのきまりを確認する。 書くときのきまり ①１文字１文字つめて書く。 ②語と語の間はあけて書く。 （小指１本くらい） ③ピリオドをつける。 ④大・小文字の大きさに気をつける。	◆第三者ができることについてワードリストを参考に書き写している。 （ワークシート）

		・書くときのきまりを守って書けているかペアで確認させる。	
【Reflection】 8　ふり返りを行う。 【Notice and Closing】 9　次時の予告を聞き、挨拶をする。 L: Stand up. Let's finish English! Yes!	・友だちから情報を集め、新しい発見があったか確認する。 ・次時の予告をし、見通しをもたせる。 T1: See you! T2: See you! T3: See you!		・相手の思いを引き出したり、自分の思いを伝えたりしていたこと等を評価し、クイズ大会への意欲を高めさせる。

（４）板書計画

5 Points の掲示

Goal　Who am I? ～クイズで友だち新発見～

Today's Aim　友だちのできること、できないことなど、インタビューして情報を集めよう。
友だちのできることを書いてみよう。

授業の流れ

Can you run fast?　速く走ることができますか？
○Yes, I **can.** できます。
△No, I **can't**.　できません。

情報を集めるキーワード
好きなもの　Do you like ~?
持っているもの　Do you have ~?
欲しいもの　What do you want?

会話の流れ

紹介カード　見本

書くときのきまり